



ドイツ3大B

第130話 私の名曲100選(2) ドイツ編 『3大B』

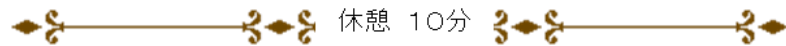
【今日の鑑賞】

5分で聴く名曲

- ・目を覚ませと呼ぶ声が聞こえ バッハ
- ・クロイツェルソナタ ベートーヴェン
- ・交響曲第3番 ブラームス

永遠の傑作

ゴルトベルク変奏曲 J.S.バッハ



運命の傑作

交響曲第5番 ハ短調 作品67「運命」 ベートーヴェン

舞曲の妙

ハンガリー舞曲集から ブラームス

【ドイツ3大B】

最初の『B』はバッハです！18世紀のドイツで活躍した作曲家・音楽家。バロック音楽の重要な作曲家の1人。彼がこのドイツ三大Bに選ばれた理由はやはり現代呼ばれるクラシック音楽を確立した作曲家だからです。全作品は1,000曲以上に。

次の『B』はベートーヴェンです！音楽史上極めて重要な作曲家であり、日本では「楽聖」とも呼ばれています。『第9』を始め、『運命』『田園』など数々の名曲を残した大天才です。

最後の『B』はブラームスです！19世紀ドイツの作曲家、ピアニスト、指揮者です。ドイツではベートーヴェンの正当な後継者と見られており、4つの交響曲や協奏曲などは、ドイツ古典派のような曲です。

【ゴルトベルク変奏曲】

ヨハン・ゼバスティアン・バッハによる2段の手鍵盤のチェンバロのための変奏曲 (BWV 988)。全4巻からなる「クラヴィーア練習曲集」の第4巻であり、1741年に出版された。バッハ自身による表題は「2段鍵盤付きクラヴィチェンバロのためのアリアと種々の変奏」

「アリアと種々の変奏」と題されているが、バッハが音楽を手ほどきしたヨハン・ゴットリープ・ゴルトベルクが不眠症に悩むヘルマン・カール・フォン・カイザーリンク伯爵(のためにこの曲を演奏したという逸話から「ゴルトベルク変奏曲」の俗称で知られている。しかし演奏には高度な技術が必要で、当時ゴルトベルクは14歳の少年であったことなどから、逸話については懐疑的な見方が多い。

【運命交響曲】

日本では『運命』、という名称で知られているが、ベートーヴェン自身による正式な命名ではない。この通称は、ベートーヴェンの秘書アントン・シンドラーの「冒頭の4つの音は何を示すのか」という質問に対し「このように運命は扉をたたく」とベートーヴェンが答えたことに由来するとされる。しかし、シンドラーはベートーヴェンの「会話帳」の内容を改竄していたことが明らかになっており、信憑性に問題がある。

【ハンガリー舞曲】

ヨハネス・ブラームスがハンガリーのジプシー(ロマ)音楽に基づいて編曲した舞曲集。オーケストラでの演奏が広く知られているが、最初はピアノ連弾のために書かれ、爆発的な人気を博した。

全部で21曲あり、それぞれの長さは1分程度のものから4分程度のものまでとまちまちである。中でも、管弦楽用に他者によって再編曲された第5番がとりわけ有名である